

個人投資家向け会社説明会 主な質疑応答
(2018年5月、6月開催)

Q1: 従業員数 5,000 名とのことだが、研究開発のスタッフは何名か。

A1: 所沢の総合技術開発センタに 700~800 名の技術者がいます。また、米国と中国にも開発拠点があり、合計で 900 名程度です。

Q2: 海外事業は現在 25% を占めるとのことだが、為替の影響はどうか。また、米国にはどのようなかたちで製品を輸出しているのか。米国に工場はあるのか。中国はどうか。

A2: 米国、欧州、中国やブラジルなどには現地通貨ベース、その他の国にはドル建てで輸出しています。当社はペースメーカーや ICD、人工呼吸器などを輸入しており、輸入と輸出のバランスがとれています。おかげさまで輸出のボリュームが増えてきたため、対ドルで 1 円円安だと営業利益に 1 億円のプラス影響となります。また、生体情報モニタや脳波計などの工場は米国にないため、日本から輸出しています。一方、中国には工場があり、中国国内のみならず、新興国向けにも輸出しています。

Q3: 現金及び現金同等物が相当多いように思う。

A3: キャッシュの使い道としましては、今後の成長に向けて、研究開発や設備投資、M&A などの投資を行っています。2012 年には、米国の AED メーカーであるデフィブテック社を買収した実績があります。医療機器は先端技術の開発が求められることから、研究開発への投資が重要であり、今後事業を拡大するためにも、ある程度のキャッシュは確保しておきたいと考えています。

Q4: 統合報告書の中で、株主総会は集中日を避けるとあるが、日本光電の株主総会は 27 日の開催であり、一番ピークの時だと思う。集中日を避けたいと記載している以上は、もっと避けてもらいたい。

A4: 皆様に来ていただくため、集中日の 28 日を避けて開催します。一般の株主様からは、もっと会社を宣伝してほしい、などといったお声をたくさんいただいていますので、総会に限らず、このような機会を作ろうと考えています。是非、当社にご関心を持っていただければ幸いです。

Q5: 家庭用の AED を作るとのことだが、価格はいくらを想定しているのか。

A5: 家庭用の AED は、現在開発中でありまだ発売には至っていません。心臓に疾患があり、心室細動や心室性頻拍が起こる可能性が高い方のご自宅に、状態が安定するまで一時的に貸し出しするリースというビジネス形態がメインになると考えています。

以 上

<ご留意事項>

※本資料は、投資家の皆様へのご参考として掲載しています。説明会でお話したこと全てをそのまま書き起こしたのではなく、当社の判断で簡潔にまとめたものであることをご了承ください。